2005 年 1 月 28 日

レンタキャプティブ会社設立による企業向けリスクマネジメント支援事業に参入
～AIG グループとリスクマネジメント分野で業務提携～

三菱商事は、企業のリスクマネジメント支援を目的として自家保険機能の貸出を行うレンタキャプティブ会社、ダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズ社（以下、DFS）を英領バミューダに新設しました。事業運営にあたっては、世界有数の保険・金融グループである AIG グループと業務提携を行います。

「キャプティブ再保険」と呼ばれる自家保険機能を活用したリスクマネジメントの手法はすでに欧米主要企業により活発に利用されています。本邦においては、当該分野はまだ発展途上の段階にありますが最近は企業のリスクマネジメント体制がこれまで以上に注目を集めていることからキャプティブ再保険会社を設立する機運は高まってきています。

当社はこのようなリスクマネジメント強化のニーズに対応するべく、キャプティブ再保険機能の貸し出しを行うレンタキャプティブ会社（DFS）を新設し、1 月より事業を開始しました。DFS を活用することで企業は自社でキャプティブ再保険会社を設立するよりも簡便に、低コストにて自家保険機能の活用ができるようになります。当社は 1984 年にバミューダに自社専属のキャプティブ再保険会社を設立し、20 年にわたり当該分野での経験を培ってきました。DFS 利用企業は当社の運営ノウハウも共有できます。

具体的には、利用企業は DFS 内の「セル」とよばれる法的・会計的に独立した区分勘定を借り受けます。このセルがあたかも自社でキャプティブ再保険会社を設立した場合とほぼ同様の機能を提供します（添付図ご参照）。キャプティブ再保険機能の活用により利用企業は①リスクマネジメント強化、及び②保険料コスト最適化を目指します。なお、当該セルはDFS内にある他のセルのリスクからは遮断されます。
バミューダではレンタキャプティブ事業に係わる法制（Segregated Accounts Companies Act）が近年整備されました。本件はバミューダの最新レンタキャプティブ法制を活用した本邦初の本格的事業となります。

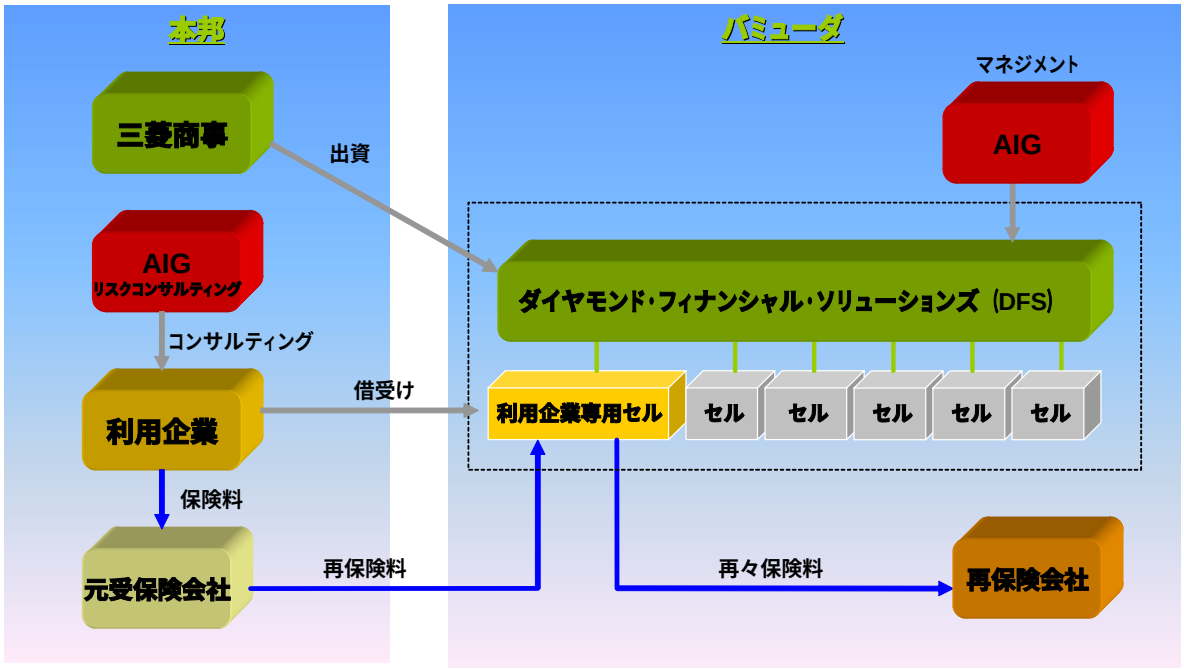
当社のレンタキャプティブ事業参入にあたっては本分野で数多くの実績を擁する AIG グループと業務提携をします。コンサルティング業務で AIG リスクコンサルティング社と、バミューダでのマネジメント業務を AIG インシュアランス・マネジメント・サービシズと契約し高度なサービスを提供します。これにより DFS は 5 年後を目処に利用企業 20 社～30 社、また総資産として 100 億円規模の事業を目指します。さらに当社と AIG グループの金融サービス機能を駆使し、レンタキャプティ

ブの「セル」を活用した新しい「保険と金融の融合ビジネス」の組成にも取り組み機能の多様化を図っていきます。

＜新会社の概要＞

社名　　：ダイヤモンド・フィナンシャル・ソリューションズ（株）
　　（Diamond Financial Solutions Limited）
所在地　：英領バミューダ　ハミルトン市
資本金　：100 万米ドル（三菱商事 100%出資）
設立　　：2004 年 12 月
事業内容：自家保険機能の貸し出し事業（レンタキャプティブ事業）

＜添付図＞



以上

【ご参考】

＜キャプティブ再保険会社とは＞

主に保険会社以外の事業会社が所有する自社リスクを専門に引受ける保険子会社のこと。リスク対効果という観点から、リスクの「保有」と「移転（＝保険）」の配分を再構築し、リスク処理コストの最適化を図るとともに、損害低減策の導入を通したリスクマネジメント強化を目的とする。全世界で 5,000 社ほどが設立されており、その取扱高は約 2 兆円とされている。一方、本邦での利用企業はまだ 100 社未満とされている。